



脳神経内科のご紹介

副院長/脳神経内科部長 **岩田 淳**

脳神経内科にご紹介いただきたい主訴とは何だと思われるでしょうか。色々悩んでからご紹介いただく事があるかと思うのですが、ご紹介を頂く側とすれば、先生方が診察されてこれは脳神経内科だと思った症例はもちろんなのですが、実は「よく分からない」という場合も大歓迎です。両足がしびれるしびれると言いつけた患者さんが、色々な診療科で異常がないと言われ続けて実はレビー小体型認知症だったとか、おかしな事を言い始めて精神科かと思ったら脳梗塞だったとか、実は様々な主訴が脳神経内科疾患が原因の事があります。私たちの初診の診断で多い疾患はパーキンソン病、脳卒中、めまい、頭痛、認知症などになりますが、中には典型的でない症状の方も多くおられます。可能な限り初診外来の待ち時間を短くするように努力を続けていますので、どうぞお気軽にご紹介頂ければ有り難く存じます。

また、脳神経内科は、アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)と軽度の認知症の方を対象にしたレカネマブ・ドナネマブという新しい作用の治療薬のための専門外来を担っています。2024年にはレカネマブを95人の患者さんに、ドナネマブを1人の患者さんに導入しました。これらの薬は、従来の内服薬より症状が軽い時期に用いるもので、自立してその人らしく充実した生活を送る助けになります。もの忘れにお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。



スタッフ紹介 臨床心理科

当センターでは、これまで一部の科に分かれて所属していた心理士を、2024年4月に中央診療部門として統合し、「臨床心理科」が新たに発足しました。この組織改編は、①これまで各科で培ってきた心理士の専門性を集約し、相互に技能を高め合うことで、患者様およびご家族への心理支援体制の更なる充実を図ることと、②診断や治療効果の評価、支援方針の決定に必要な心理アセスメントを、院内において円滑に提供できる体制を構築すること、の2点を目指したものです。

高齢者への心理支援とは、年齢を重ね、病を抱えたとしても、人生の最終段階（エンドオブライフ）までその人らしく過ごせるように支援することです。地域の先生方がご紹介くださった患者様・ご家族の一助となれますように、臨床心理科一同、院内の各部門と連携しながら、真摯に技能の向上に努めてまいります。



スタッフ紹介 認知症看護認定看護師

当センターには、2名の認知症看護認定看護師が、認知症の方の尊厳を守る医療ケアを推進するために、多職種チームで協働しています。私たちは、認知症ケアチームの一員として、精神科医師・薬剤師・精神保健福祉士・心理士と病棟をラウンドし、非薬物療法や薬物療法・ケアの方向性を検討しています。外来では家族交流会やはじめ講座、相談業務も担っています。私たちと出会う認知症の方や家族、地域の関係者の皆さまが、悩みを抱え込むことなく、安心してその人らしい生活を継続できるように、チーム力を大切にしながら活動しています。また、エンドオブライフケアも重要な課題の1つです。地域の皆さまと共に最善・最良のケアを考えていきたいです。



外来医師配置表はこちらよりご確認ください。

各種問い合わせ



- **医療連携係（直通）** ☎03-3579-6963（平日 9:00～17:00）
- **予約センター** ☎03-3964-4890（平日 9:00～17:00）
- **緊急受診・緊急入院のご相談** ☎03-3964-1141
※「緊急受診（入院）の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話しください。
- **脳卒中科ホットライン** ☎080-4116-1141
※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。
- **循環器科ホットライン** ☎03-3962-8325
※急性冠症候群、弁膜症、心不全、不整脈、大動脈瘤、大動脈解離、急性動脈閉塞など緊急対応が必要な時、その他お困りの時は、いつでもご連絡下さい。
- **急性腹痛外科ホットライン** ☎050-1707-4108（平日 9:00～17:00）
※虫垂炎、胆嚢炎、消化管穿孔、ヘルニア嵌頓、絞扼性腸閉塞などを疑う急な腹痛診断がついていない状態でも構いません。